



www.OptionClub.net

オプション倶楽部TV



【売坊流】政治経済イベント分析

AIバブルはいつまで 景気後退を隠せるか

この番組では日本株や米国株のトレードに役立ちそうな**イベント**、グレイ・リノ、異常値について紹介していきます！

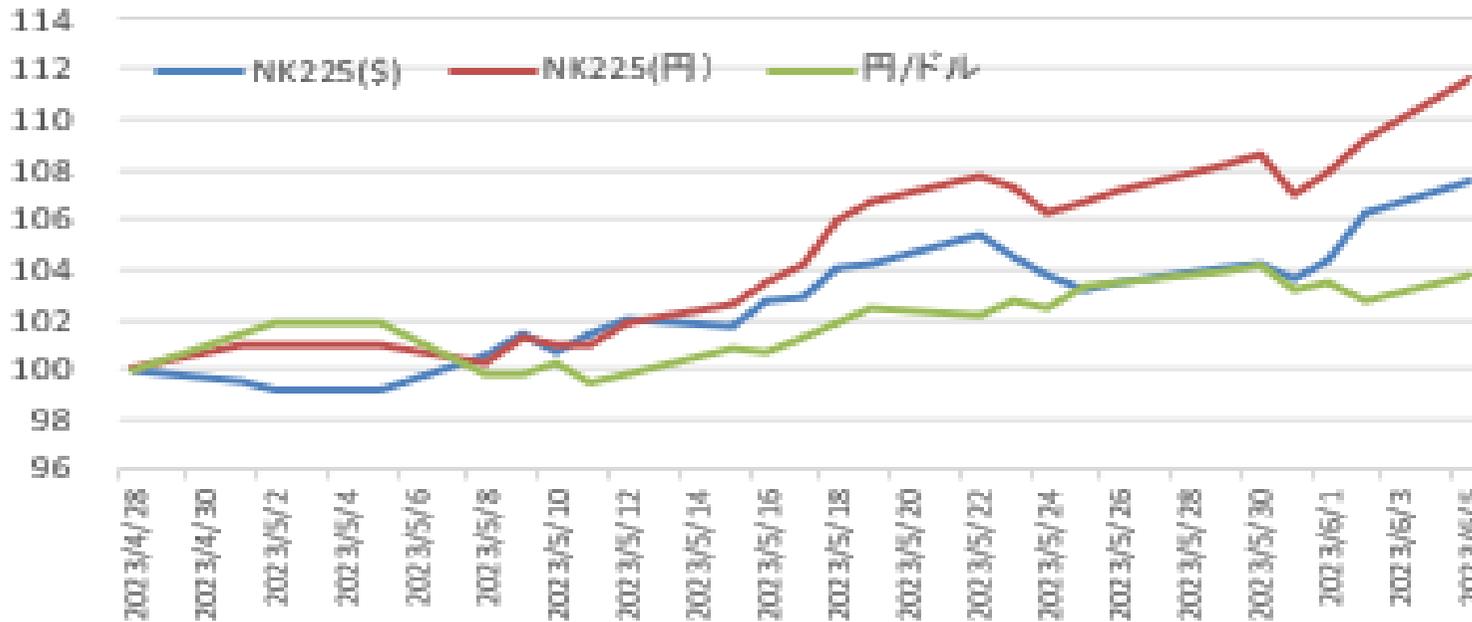


OP売坊



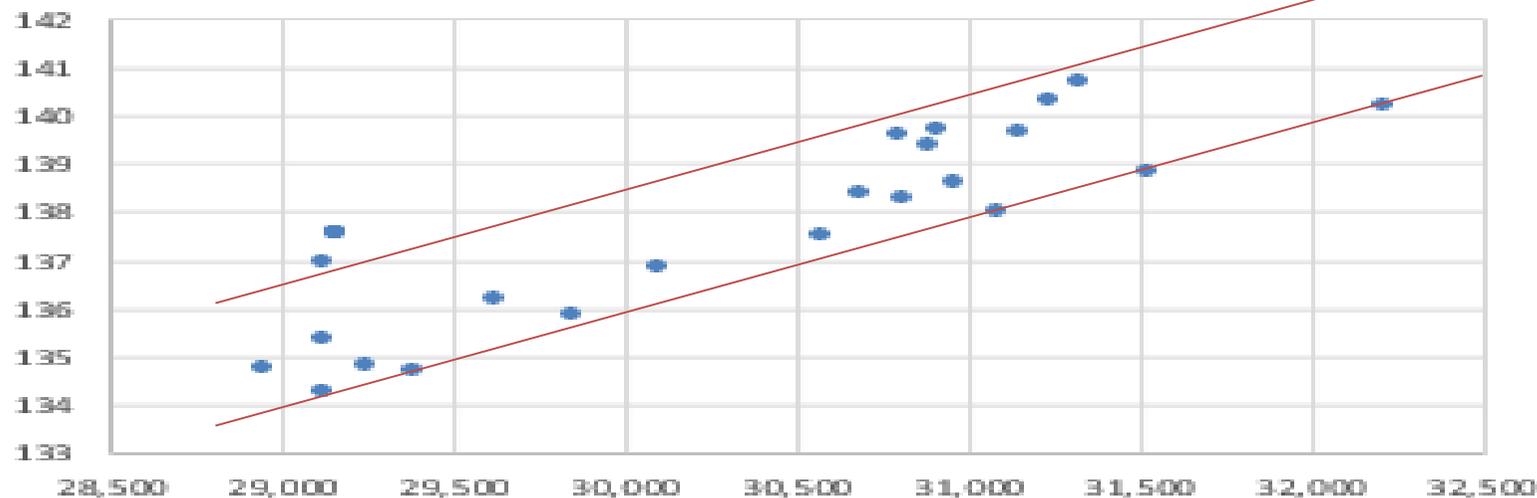
2023年5月の日経平均を振り返る

円建て日経平均、米ドル建て日経平均、円ドルレート推移（4月28日=100）



5月の特筆すべき国内イベントは円安の進行でしょう。円建て日経平均の上昇は円安で、ほぼ説明できます

同期間におけるドル円レート（縦軸）と日経平均（横軸）の分布図



日経平均が30000円を突破してから売り方の締め上げが、かなり続いています。ファンダメンタルというよりもCALL売りに対する先物のヘッジ買いなどが入ったことで急伸しています。将来の景気上昇を織り込んだものとは考えにくい状態でしょう



2023年7・8月限SQ日までの注目イベント

<米国>

- 6月13日：消費者物価指数（5月分）
- 6月14日：生産者物価指数（5月分）
- 6月14日：FOMC政策金利
- 6月16日：米メジャーSQ
- 7月07日：雇用統計（6月分）
- 7月12日：消費者物価指数（6月分）
- 7月13日：生産者物価指数（6月分）
- 7月26日：FOMC政策金利
- 8月04日：雇用統計（7月分）
- 8月10日：消費者物価指数（7月分）

<欧州・英国>

- 6月15日、7月27日：欧州政策金利
- 6月22日：英国政策金利

<日本>

- 6月12日：企業物価指数（5月分）
- 6月16日・7月28日：政策金利
- 6月30日：消費者物価指数（東京、6月分）
- 7月12日：企業物価指数（6月分）
- 7月28日：消費者物価指数（東京、7月分）

青文字は景気関連、赤文字が物価関連です。これらの数字によって、中銀の金融政策への思惑が左右されるでしょう。また、しばらくは米国債の格付け引き下げがあるかに注目しています



※SQ日は期近（月次・週次）の未決済建玉が清算されるためOPトレーダーにとって区切りとなる日です

2023年 6月

11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

2023年 7月

						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

※7月17日、8月11日に祝日取引が実施されます

2023年 8月

		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12

日経225ミニオプションのSQ日
日経225ミニ先物・マイクロ先物、月次オプション、ミニオプションのSQ日
メジャーSQ 日経225先物・ミニ先物・マイクロ先物、月次オプション、ミニオプションのSQ日

注) 予定は予告なく変更される場合があります。
出所) ブルームバーグ、ロイターなどから筆者作成

※『OP売坊公式ツイッター (@OP49431790)』でもニュースについてつぶやいています。



6月13日発表の米5月CPIはかなり低下か？

米クリーブランド連銀の5月・6月CPI（消費者物価指数）前年同月比予想

INFLATION, YEAR-OVER-YEAR PERCENT CHANGE

Month	CPI	Core CPI	PCE	Core PCE	Updated
June 2023	3.13	5.12	3.17	4.45	06/02
May 2023	4.13	5.34	3.93	4.71	06/02

Note: If the cell is blank, it implies that the actual data corresponding to the month for that inflation measure have already been released.

出所) クリーブランド連銀 (2023年6月2日現在)

FEDウォッチ (2023年12月13日FOMCの米政策金利予想)

TARGET RATE (BP)	PROBABILITY(%)			
	NOW*	1 DAY 1 8 2023	1 WEEK 28 6 2023	1 MONTH 2 6 2023
350-375	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
375-400	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%
400-425	0.0%	0.0%	0.0%	14.9%
425-450	1.0%	5.2%	1.2%	37.0%
450-475	11.0%	23.9%	9.7%	33.6%
475-500	36.2%	36.8%	27.5%	11.2%
500-525 (Current)	38.6%	25.3%	35.4%	1.2%
525-550	12.4%	7.9%	21.3%	0.0%
550-575	0.9%	0.9%	4.9%	0.0%

* Data as of 2 6 2023 07:45:49 CT

出所) CME (2023年6月2日現在)

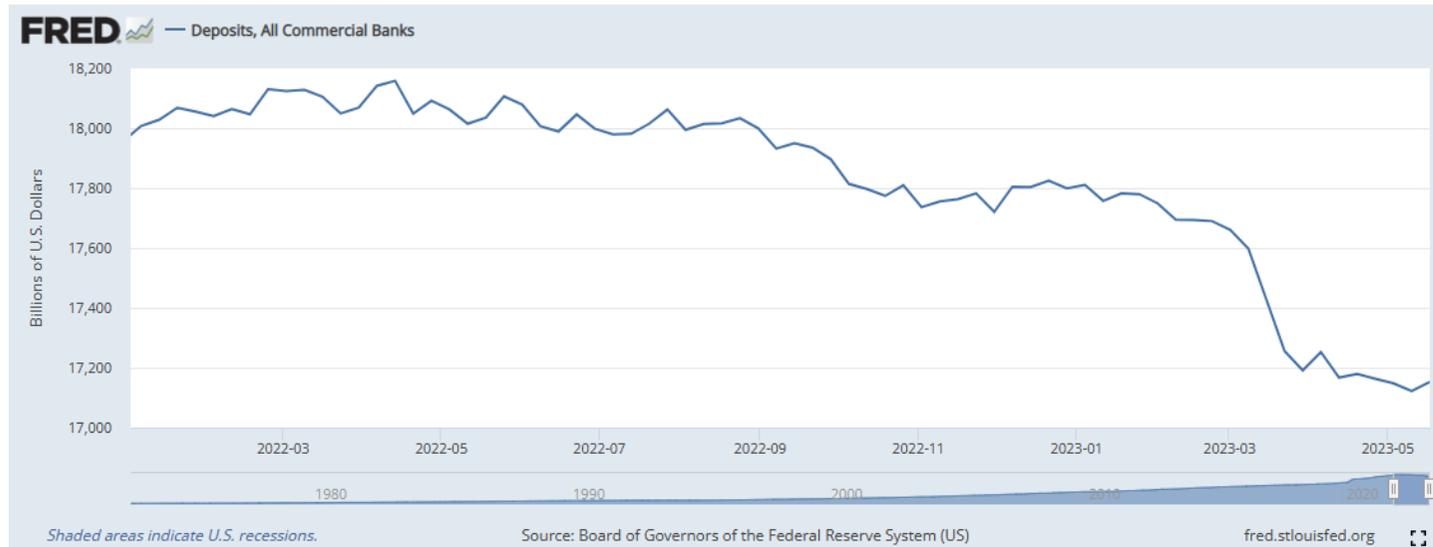
4月CPIは4.9%でした。インフレが鎮静化していると受け取られています。さらにク銀の6月CPIの予想値が3%前半となっていますので、かなり好感されるかもしれません

市場の大方は、まだ政策金利が年末に現水準の5.00~5.25%から0.25%程度引き下げられると予想しています。FRBの想定と隔たりがあるのが現状です



金融不安は今もくすぶり続けている

米商業銀行の預金残高（十億ドル）



出所) セントルイス連銀 (2023年5月17日現在)

FRBの信用供与額（百万ドル）



出所) FRB、コンファレンス・ボード

FDIC（連邦預金保険公社）によると米銀の預金残高が23年1-3月期に前期比2.5%減（4720億ドル減）と過去最大でした。現在は小康状態というところでしょう。なお、銀行破綻は欧米だけでなく日本（地銀・信金・信組）でもあり得ると考えています

FEDによる銀行への貸し出しだけに絞ると2008年の金融危機や2020年のコロナショック時を超えてきており、状況がその時より悪いということを表していると考えています

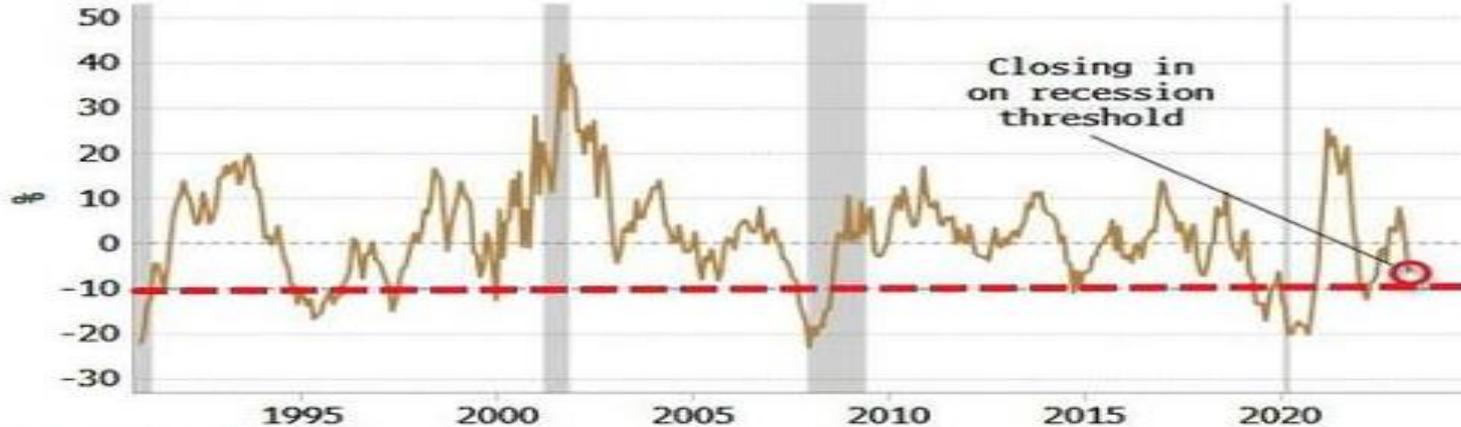


ドラッケンミラー氏はハードランディングを懸念

景気循環株は景気後退の可能性を示し始めている

Cyclical Stocks Reflect Increasing Recession Risk

— Druckenmiller-inspired Recession Indicator YoY (Median of Outperformance of banks, retail, homebuilders, autos and small caps vs S&P)

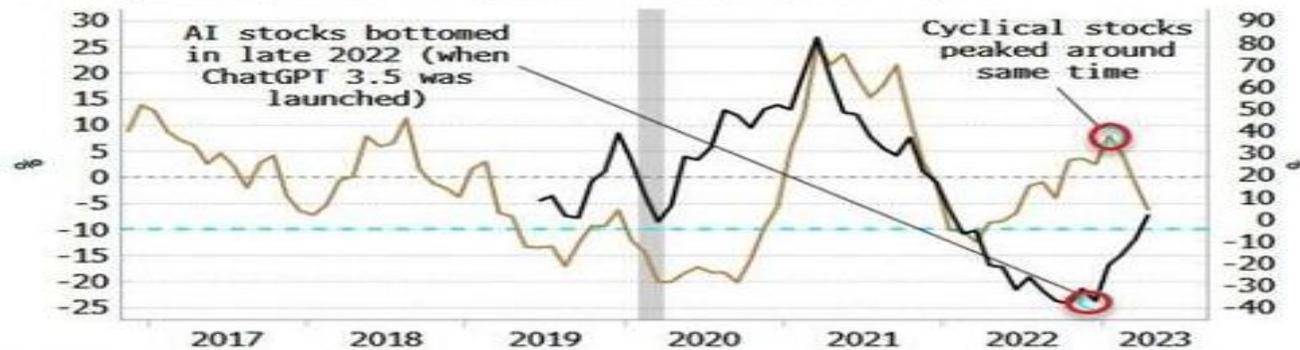


Source: Bloomberg

AI株との乖離

The AI Divergence

— Global X Artificial Intelligence & Technology ETF (YoY), rhs
— Druckenmiller-inspired Recession Indicator YoY (Median of Outperformance of banks, retail, homebuilders, autos and small caps vs S&P), lhs



Source: Bloomberg

著名投資家のスタン・ドラッケンミラー氏は、米経済がリセッション（景気後退）の瀬戸際でありハードランディングを予想しています。なお、同氏はハードランディングを失業率が5%超で、企業収益が20%以上落ち込み、倒産件数が増加する状態と定義しています

景気の循環（景気・金利・季節）により多大な影響を受ける銘柄のことを「景気循環株」といいます。具体的には鉄鋼・繊維などの素材産業や工作機械製造業などです。AI関連銘柄がそうした銘柄の株価下落を隠しています。つまり、AI株以外の株価は景気後退の兆候を示し始めているのです

出所) ブルームバーグ、ゼロ・ヘッジ

OP売坊の重要視しているもの

確率・勝率・収益率

資産管理・
リスク管理

パターン分析
(時系列
・分布)

簡単・
シンプル

オプションは面白い

オプション倶楽部TVでは配信動画をさらに楽しんでいただくため、補足Q&Aを無料メルマガ「グレイ・リノ通信」でご提供しています。登録はOP倶楽部のサイト (optionclub.net) にメールアドレスを入力していただくだけです。同メルマガでは過去にラジオNIKKEIの番組に出演したときの補足Q&AやOPトレードに関する情報も配信しています。ぜひぜひお気軽にご登録ください！ 質問も募集中！！

質問大募集 →

<http://trs.jp/r/op-form>



最後までご清聴、誠にありがとうございました。

講師ブログ『実践オプシオン教室』

<https://www.jissennkop.blog.fc2.com>

講師ツイッター『OP売坊@OP49431790』

<https://twitter.com/OP49431790>

Copyright © 2019-2023 OP売坊 / Pan Rolling Inc.

All rights reserved. This report is for authorized recipients only and not for public distribution.

免責事項

- オプション倶楽部TV（以下「本動画」）で使用した図表・数値などは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、その正確性・信頼性・完全性を保証するものではありません。
- 本動画に掲載された情報・図表・資料は、あくまで金融知識の向上と情報提供を目的としたものです。証券など金融商品の売り買いを提案・勧誘するためのものとして、また証券など金融商品について助言・推奨するものとして、利用・解釈しないでください。
- 本動画は一般向けに編集されています。特定の投資目的・特定の投資環境・特定の投資家を一切考慮していません。事前に専門家の適切な助言を受けるべきですし、最終的な投資判断は、個々人が個々の状況を考慮して、自らの責任で下すようにしてください。
- 本動画に基づく行為の結果、発生した障害・損失などについて講師およびパンローリング社は一切の責任を負いません。
- 本動画に記載されたURLなどは予告なく変更される場合があります。
- 本動画に記載されている会社名・製品名は、それぞれ各社の商標および登録商標です。



YouTubeで動画配信『オプション倶楽部TV』はじめました

毎週水曜日22時にパンローリングチャンネルで!!



3つの視点で日本株・米国株・為替市場を大きく揺るがしそうな材料を分析します



第一週
政治経済イベント



第二週
グレイ・リノ



第三週
異常値



第四・五週は
OPが初めての方への
ワンポイント解説

グレイ・リノ（灰色のサイ）とは、高い確率で大きな問題を引き起こし得るにも関わらず市場からまだ軽視されている事象をいいます。ブラックスワンのきっかけとなり得る問題ですね

専用ページ <https://www.panrolling.com/tv/opctv.html>



OP売坊の無料メルマガ『グレイ・リノ通信』

売坊先生のYouTube動画を何倍も楽しめる

補足記事やOPトレードに関する情報を配信中！

詳細・登録は www.OptionClub.net から



- ・日銀金融政策決定会合はOP**買い**戦略のチャンス!?
- ・最近の裁定売り残・買い残の推移から、どのようなことがみえてくるのでしょうか？
- ・中国が着々と米国債を売って金を買っている!?
- ・米国株の「不都合な真実」とは何でしょうか？
- ・OP**売り**・**買い**戦略で確認・対処すべきポイントとは？
- ……など

読者には入門セミナーと本コースの受付を**先行・優先でご案内**いたします

オプション倶楽部 検索